

第6回富士市立東小学校の学校教育の未来を考える会の報告

令和7年12月10日（水）に東小学校の図書室で、「第6回富士市立東小学校の学校教育の未来を考える会」を開催しました。今回はその内容について御報告いたします。

1 令和8年度以降の東小学校と須津小学校の児童数の推定（令和7年12月現在）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
東小学校	3	6	6	3	4	10	5	8	10	6	12	9	50
須津小学校	39	57	44	58	59	68	80	85	77	94	86	100	522
小学生計（普通級）	42	63	50	61	63	78	85	93	87	100	98	109	572

令和8年以降の東小学校と須津小学校の在籍人数は、上記のように推定しております。

東小学校では、令和8年度は複式学級の要件に該当すると想定されます。

静岡県の複式学級の要件

- ・2つの学年で13人以下となった場合、2つの学年を合わせた複式学級とする。ただし、当該の2つの学年に1年生を含む場合には、6人以下とする。

市教育委員会では、令和8年度に複式学級の対象となった場合、複式学級を解消するため、市の予算で非常勤の教員を配置する予定です。

2 これまでの経過等について

これまでに寄せられた主なご意見としては、小中一貫校の設置案や隣接校選択制度に関するものがありました。前回の協議では、須津地区の小学校と中学校を一体型施設として建て替え、東小学校の児童も通学する案が示されました。

しかし、後述のとおり、市全体の学校再編計画を策定することとなったことから、当面は建替えに関する議論を保留とすることとなりました。

3 小中学校の再編計画について

市では、児童数の減少と、築40年以上の校舎が全体の約6割を占める老朽化の状況を踏まえ、全市的な学校再編が必要となっています。

令和8年1月から8月にかけて、「富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」の改定作業を進め、令和9年度末を目標に、より具体的な「富士市立小中学校の再編計画」を策定する予定です。どの学校をどのように再編していくかについては時点では未定であり、複数の再編方法を幅広く検討していく方針です。

ただし、東小学校は複式学級の対象規模となることから、東小学校の在り方は上記と並行して検討していきます。

策定スケジュール

- ① 「富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」を改定します
(令和7年度～令和8年度)
- ② 改定した基本方針を踏まえ、「学校再編計画」を策定します
(令和8年度～令和9年度)

4 意見交換

説明のあと、意見交換を行い、次のような意見が寄せられました。

- この会は若い世代の参加が少ないため、より参加しやすい環境づくりが必要である。
- 東小学校の教育環境を高く評価する声が多く、子どもが学校を楽しんで通っていることや不登校が少ない。
- 小中一貫校については、中学生のトラブルが小学生に影響するのではないか。
- 一貫校化を検討する前に、十分に保護者の意見を聞くべきだ。
- 地域コミュニティの維持に対する不安が示され、学校が無くなると人口流入が止まるのではないか。
- 東小学校でも小規模特認校制度を導入し、市外からの児童受け入れを可能にしてほしい。
- 学校統合後の子どもの遊び場や遊び仲間の確保について、不安がある。

5 上記のほか、考える会において出された質問への回答

- 会議の周知が十分ではないとの指摘があり、広報だけでなく SNS なども活用すべきだ。
(回答) 今後、会議開催や情報発信については、SNS などデジタル媒介も使っていくように検討します。
- 市街化調整区域などの地域課題については、教育委員会だけでなく市全体で議論すべきだ。
(回答) 学校再編は、教育委員会だけでなく、市全体の課題であると考えております。
今後、再編計画の策定に関しては様々な地域課題と関係することから、市の関係部署と情報共有しながら、協働して対応していく予定です。
- 水害発生時の避難に関する不安が示され、学校周辺の孤立リスクについて。
(回答) 浸水想定については、富士市防災アプリ「防災ふじ」で確認することができます。浸水区域内においては、「難」を逃れる避難が優先されるため、区域外に早期避難することが求められますが、浸水の深さが床面以下の想定の場合には、自宅に留まるなど浸水区域内での移動を控えることもリスク回避には重要となります。
地形の特性上学校周辺が孤立するリスクはありますが、市内の平地のほとんどが洪水や内水による浸水想定区域であるため、ハード対策で浸水エリアを無くすことは不可能なのが現状です。
- 子ども自身（当事者）の意見を聞く機会を設けるべきだ。
(回答) こども基本法でも、子どもの意見表明する機会が確保されることとあります。今後、学校再編等の直接関わる事柄が具体的に進捗する時には、意見を聞くことも検討します。

今回の考える会は、東小学校の今後について「すぐに結論を出す場」ではなく、これからの検討の基礎となるご意見を伺うためのものです。

皆さまからいただいたご意見は、教育委員会及び市長部局と共有し、今後の検討に活かしていきます。また、次回以降は周知方法や参加の仕方についても改善し、より参加しやすい場となるよう努めてまいります。

また、今後教育委員会で策定していく「小中学校再編計画」は、特定の小学校・中学校の課題ではなく、富士市全小中学校に関わる課題であると考えております。

引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

6 講演会を開催しました

令和7年12月23日（火）にロゼシアターで、再編計画に関する講演会を開催しました。この講演会では、少子化が進む中で全国的に進められている学校再編の動向を踏まえ、富士市の学校の適正規模・適正配置の必要性について、専門家の大学教授に説明いただきました。

教育の基本目的を確認しつつ、少子化が教育環境に及ぼす影響や、富士市が抱える課題と今後の方向性について整理し説明いただきました。

講演会の録画を配信しております。以下のQRコード等からフォームにアクセスしメールアドレスを入力いただくと、動画視聴URLを記載した自動返信メールが届きます。ぜひご視聴ください。

【フォームURL】

<https://logoform.jp/form/5KXT/1416877>

【QRコード】



富士市公式ウェブサイトには、「基本方針に基づいた適正化の動き及びお知らせ」などの関連情報を載せております。

この件についてのご意見がありましたら、富士市教育委員会教育総務課までご連絡ください。



教育総務課メールアドレス



富士市公式ウェブサイト